

2023年度 工学院大学学園祭実行委員会八王子祭実行部



工学院大学学園祭実行委員会八王子祭実行部

部長 市ヶ谷 悠大 印

1. 組織構成

学園祭実行委員会八王子祭実行部に所属する2年生、56名と1年生を加えた人数で構成される。

2. 方針

本実行部は、本学学生と参加団体に重きを置き、本実行部員の人材を最大限に生かし、八王子祭を企画・運営し、八王子祭を盛り上げることで、工学院大学全体を盛り上げる。今年度は、コロナ渦明け初開催の昨年からコロナ流行前の八王子祭に回復させ、世界観の創造・広報活動・来場者の回転率の三点に力を入れる。テーマに沿った世界観を創造し、来場者を非日常的な世界に引き入れ、八王子祭全体を盛り上げる。また広報活動の拡大によって、八王子祭の来場者数を増加させ、大学の広報、企業との関係性の発展を図る。さらに来場者を様々なコンテンツへ誘導し、回転率を向上させることで、八王子祭全体の盛り上がりを底上げする。さらに、新宿祭実行部と協力し、2つの学園祭で成功を取める。

3. 目的

(ア) プレ八王子祭

学生と近隣住民と本実行部の繋がりを強め、八王子祭の広報をし、八王子祭の集客率を上げると共に、本実行部員に企画・運営の基礎を作らせ、八王子祭の発展に寄与する。

(イ) 八王子祭

外部企業との協力関係をより強固なものにし、学園祭の広報をすることにより、大学の広報に繋げる。さらに参加団体の発表の場を発展させ、大学の広報に寄与する。またキャンパスを、テーマによる世界観で、来場者が現実と乖離する中で楽しめる環境を作り、八王子祭を運営する。

(ウ) 新宿祭

新宿祭実行部だけでは運営をすることができない部分を、本実行部で補う。さらに、1年生が企画を行うことで、新宿祭企画をより良いものにし、連携を強める。

4. 活動内容

(ア) 全体会議

毎週水曜日に本実行部員を集め、情報共有を主にする場として開催する。情報共有の際、視覚的に工夫を施し、局間での情報の差異を無くし、実行部員全体の意識を統一させるために行う。

(イ) プレ八王子祭

主に本学学生と近隣住民を対象として開催する学園祭である。学生団体に、模擬店を運営してもらい、ステージ企画や常設企画を行うことで、プレ八王子祭全体を盛り上げ、八王子祭の集客につなげる。ステージ企画では、学生自治会常任委員会八王子支部と学科連合委員会八王子支部との協力体制を築き、各団体の特色を生かした企画を行う。またプレ八王子祭終了後から始まる歩け歩け大会の宣伝をし、相互作用によりプレ八王子祭と歩け歩け大会の双方を盛り上げ成功させる。さらに、参加団体だけではなく本実行部1年生にも発表の場を経験させることで、本委員会の委員としての自覚を持たせる。また、本実行部員が運営を経験することで、八王子祭の質を底上げする。

(ウ) 歩け歩け大会

プレ八王子祭終了後の深夜0時から、八王子キャンパスから新宿キャンパスまでの43kmを歩く企画を開催する。本大会では、参加者が助け合い歩くことで、仲を深めて、今後の学生生活の糧とする。さらに工学院大学の情報を発信することで工学院大学の広報に繋げることを目的とする。そのために、安全に対して細心の注意を払い開催の判断を下すことで、参加者の安全性を確保した上で、参加者を楽しませる工夫を施す。また前述したとおり、プレ八王子祭終了後に開催することで歩け歩け大会との相互作用により、プレ八王子祭の来場者数を増やす一因とする。

(エ) 八王子祭

本実行部は、来場者を楽しんでもらうことと、本学の学生団体にとっても成果の発表の場を満足感のあるものとなるようにし、外部企業との関係性を強化し八王子祭全体を盛り上げることを目的とする。八王子祭では参加団体を募集し、模擬店、ステージ企画、教室展示を日々の活動の成果を発表する場として提供し、来場者に観覧してもらうことで、学生団体の活動の促進及び学生生活の充実を図ることを目標としている。また八王子祭で来場者に充実した時間を過ごしていただくことにより、工学院大学の知名度向上に繋げ、広報活動に貢献することを目標とする。

八王子祭では、今年の学園祭のテーマである「魔法」が一目でわかる東門を作成、設置し、世界観を生み出す装飾をキャンパスに設置し、特設ステージでのステージ企画、常設型企画、教室展示、模擬店を行うことで幅広い形態での参加団体の発表の場の提供をする。さらにこれらの発表の場の提供をするだけではなく、幅広い広報戦略を投じることで来場者がより多くのコンテンツに参加するきっかけとなり、学生団体の発表の場を盛り上げることができる。そして八王子祭の一大イベントである芸能企画とアーティストライブを運営する。

昨年度は、コロナ渦明け初開催のため、教室展示の参加団体の数や、協賛看板や情報宣伝看板の数は例年より少なく、全体として規模を縮小しての開催となっていました。しかし新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行することに合わせて、八王子祭の規模を新型コロナウイルス感染症流行前の規模に回復させる。規模を回復させることで来場者数の増加を見込むことができ、八王子祭を盛り上げ、大学の広報活動に貢献する。

また今年度は、局間での情報共有を活発化させるとともに、参加団体、大学との情報共有を密にとることで八王子祭全体での協力体制を築くことで、八王子祭を本実行部だけではなく大学全体で盛り上げる一因にする。

(オ) 新宿祭

新宿祭のステージ企画にて、本実行部1年生が1から企画を作り上げ、実践を経験することで来年度に繋げることができる。また運営面では、新宿祭実行部と協力することで、新宿祭の発展に貢献し、来年度以降の本実行部と新宿祭実行部の双方の運営の協力体制を強化する一因にする。